

「土木一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価 点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B) 企業 の 技術 力 6 ・ 0 点	(a)同種工事の施工実績の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去15年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：土木一式〕 (平成○年度および平成○年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事（○○○○○○））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) ×0.3+0.5	0.5～ 3.2
			70点未満	0.0
	(c) 優良工事表彰 〔業種：土木一式〕 (平成○年度表彰、平成○年度表彰)	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし (または受賞なし)	0.0
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(C) 配置 予定 技術 者の 技術 力 3 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 優良工事表彰受賞経験〔業種：土木一式〕 (平成○年度表彰、平成○年度表彰)	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし (または受賞なし)	0.0
	(d) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）における取得ユニット数 【推奨ユニット数】 1年間で20ユニット以上 2年間で40ユニット以上 5年間で100ユニット以上 のうちのいずれかを満たすもの	推奨ユニット数以上を取得している	1.0
			推奨ユニット数の半分以上を取得している	0.5
			上記以外	0.0
(D) 企業 の 地域 性、 社会 性 6 ・ 0 点	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり （○○土木事務所管内に主たる営業所あり）	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり （福井県内に主たる営業所あり）	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	①広域防災への取組	取組あり	0.5
			取組なし	0.0
		②県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度 (平成○年度または平成○年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業（凍結防止剤散布を含む）の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0
			実績なし	0.0
	(d) 県内企業の活用	次の①～③のいずれかを満たす場合に評価する ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	左記①～③のいずれかに該当する	0.5
			上記以外	0.0
	(e) 県産品の活用	使用資材の福井県産品活用 (福井県内で生産された資材を含む)	発注者指定の品目（別表1参照）に県産品を活用する。	0.5
			上記以外	0.0
満点	技術提案を求める標準型			30.0
	技術提案を求めない簡易型			15.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。
4. 「継続学習」は設計金額7,000万円以上の配置予定技術者の保有資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

「鋼構造物工事」 評 価 基 準 表(〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 （平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで）	過去15年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	（例）施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			（例）施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 「業種：鋼構造物」 （平成○年度および平成○年度）	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事（○○○○））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 （工事成績評定点の平均点-70）×0.3+0.5	0.5～3.2
			70点未満	0.0
	(c) 優良工事表彰 [業種：鋼構造物] （平成○年度表彰、平成○年度表彰）	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし（または受賞なし）	0.0
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(e) 技能資格を保有する自社雇用技能者の配置	主たる鉄工作业（※）のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事するか？	左記の内容のとおり従事する	0.5	
		上記以外	0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 （平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで）	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	（例）施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			（例）施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士の資格を保有	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 優良工事表彰受賞経験 [業種：鋼構造物]（平成○年度表彰、平成○年度表彰）	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし（または受賞なし）	0.0
	(d) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）における取得ユニット数 [推奨ユニット数] 1年間で20ユニット以上 2年間で40ユニット以上 5年間で100ユニット以上 のうちのいずれかを満たすもの	推奨ユニット数以上を取得している	1.0
			推奨ユニット数の半分以上を取得している	0.5
			上記以外	0.0
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり （○○土木事務所管内に主たる営業所あり）	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり （福井県内に主たる営業所あり）	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(d) 県内企業の活用	次の①～③のいずれかを満たす場合に評価する ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	左記①～③のいずれかに該当する	0.5
			上記以外	0.0
	(e) 県産品の活用	使用資材の福井県産品活用 （福井県内で生産された資材を含む）	発注者指定の品目（別表1参照）に県産品を活用する。	0.5
上記以外			0.0	
満点	技術提案を求める標準型			29.0
	技術提案を求めない簡易型			14.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。
4. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。
5. 「継続学習」は設計金額7,000万円以上の配置予定技術者の保有資格を評価項目としない案件において評価項目とする。
- ※「主たる鉄工作业」とは、工場製作における、仮付けのための野書き作業、仮付け作業、溶接作業、仮組立作業のことをいう。また、当評価項目が加点され契約した工事において、主たる鉄工作业を一部でも下請けに出した場合、または主たる鉄工作业の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士（構造物鉄工作业）」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

「建築一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数	
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0	
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去15年間の企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
			上記以外	0.0	
		(b) 工事成績 「業種：建築一式」 (平成〇～〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事）の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
				70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～3.2
				70点未満	0.0
	(c) 優良工事表彰 [業種：建築一式]（平成〇年度表彰、平成〇年度表彰）	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰の有無	同種同程度の民間工事等の工事実績について、建築基準法の規定による検査済証および中間検査合格証（中間検査が不要なものを除く）の写しまたは検査機関発行のこれらに代わる証明書を提出できる場合	1.0	
			上記以外	0.0	
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
			優良工事表彰受賞による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
	(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	IS09001認証を取得している。	0.5
				上記以外	0.0
(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの				1.5	
(b) 配置予定技術者の保有する資格			配置予定技術者の保有する資格	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
				上記以外	0.0
				1級建築士かつ1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円以上の工事） 1級建築士または1級建築施工管理技士保有（設計金額7千万円未満の工事） 上記以外	1.0
(c) 優良工事表彰受賞経験「業種：建築一式」 (平成〇〇年度表彰、平成〇〇年度表彰)		過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5	
			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし（または受賞なし）	0.0	
(d) 配置予定技術者の継続学習への取組状況		建築士会CPD制度または建築CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度におけるにおける取得単位数 〔推奨単位数〕12単位／年間 ※または、24単位／2年間	推奨単位以上を取得している	0.5	
			上記以外	0.0	
(D)		(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市（町）に主たる営業所あり （〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり）	2.5
				〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり （福井県内に主たる営業所あり）	1.0
	上記以外			0.0	
	(b) 社会貢献度	県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0	
			災害協定の締結なし	0.0	
	(c) 地域貢献度	企業内の福井県震災建築物応急危険度判定士の有無	3名以上（設計金額2億円を超える工事） 2名以上（設計金額2億円以下の工事）	1.0	
			上記以外	0.0	
	(d) 県内企業の活用	次の①～③のいずれかを満たす場合に評価する ① 元請企業が「「発注者が指定する工種（別紙1）」を除く工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用する ② 「「発注者が指定する工種（別紙1）」を除く工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種（別紙1）」を除く工種」の全てを自ら施工する	左記①～③のいずれかに該当する	0.5	
			上記以外	0.0	
	(e) 県産品の活用	使用資材の福井県産品活用（福井県内で生産された資材を含む）	発注者指定の品目数以上（〇〇品目以上）	0.5	
			上記未満	0.0	
	満点	技術提案を求める標準型			30.0
技術提案を求めない簡易型			15.0		

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については、別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 継続学習への取組状況の「※24単位／2年間」の評価は、平成24年10月1日以降の入札公告に係る案件において評価対象とする。
4. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。

「ほ装工事」評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価 点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B) 企業 の 技術 力 5 ・ 5 点	(a)同種工事の施工実績の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去15年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	0.0
	(b)工事成績 「業種：ほ装」 (平成○年度および平成○年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事（○○○○○））の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上　80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) ×0.3+0.5	0.5～ 3.2
			70点未満	0.0
	(d)品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(C) 配置 予定 技術 者の 技 術 力 2 ・ 5 点	(a)同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの	1.5
			上記以外	1.0
	(b)配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級舗装施工管理技術者の資格を保有	1.0
			2級舗装施工管理技術者の資格を保有	0.5
			上記以外	0.0
(D) 企業 の 地 域 性 ・ 社 会 性 4 ・ 5 点	(a)地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b)社会貢献度	県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c)地域貢献度 (平成○年度または平成○年度)	過去2か年度における県または市町と除雪作業（凍結防止剤散布を含む）の契約を締結した実績の有無	自社保有のグレードによる除雪契約実績あり	1.0
			上記以外の除雪作業の契約実績あり	0.5
実績なし			0.0	
満点	技術提案を求める標準型			27.5
	技術提案を求めない簡易型			12.5

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の内容の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。

「法面処理工事」 評価基準表(○○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価 点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 0 点	(a)同種工事の施工実績の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去15年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
			80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～ 3.2
			70点未満	0.0
	(d)品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
	(e)技能資格を保有する自社雇用技能者の配置 (※)	発注者が指定する下記の工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事するか？ 指定工種 【○○○○○○○○】	左記の内容のとおり従事する 例：【モルタル吹付工】	0.5
			上記以外	0.0
配置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 2 ・ 5 点	(a)同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b)配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	のり面施工管理技術者、グラウンドアンカー施工士、地すべり防止工事士の資格を保有（案件により設定）	1.0
			上記以外	0.0
	企業 の 地 域 性 ・ 社 会 性 4 ・ 0 点	(a)地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市（町）に主たる営業所あり （○○土木事務所管内に主たる営業所あり）
○○土木事務所管内に主たる営業所あり （福井県内に主たる営業所あり）				1.0
上記以外				0.0
(b)社会貢献度		県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
(e)県産品の活用		使用資材の福井県産品活用 (福井県内で生産された資材を含む)	発注者指定の品目（別表1参照）に県産品を活用する。	0.5
			上記以外	0.0
満点	技術提案を求める標準型			27.5
	技術提案を求めない簡易型			12.5

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。

2. 配置予定技術者（主任（監理）技術者）については「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」の加点評価を行わない。

3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。

※ 当評価項目が加点され契約した工事において、発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事しなかった場合は別記1のペナルティの対象とする。

「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B) 企業の技術力 6・0点	(a)同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去15年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか？	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b)工事成績 「業種：〇〇工事」 (平成〇年度から平成〇年度)	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事）の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか？	80点以上	3.5
			70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) ×0.3+0.5	0.5～3.2
			70点未満	0.0
	(c)優良工事表彰 「業種：〇〇工事」 (平成〇年度表彰、平成〇年度表彰)	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし（または受賞なし）	0.0
	(d)品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか？	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(C) 配置予定技術者点の技術	(a)同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去15年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか？	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b)配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇工事施工管理技士の資格を保有	1.0
			上記以外	0.0
	(c)優良工事表彰受賞経験 「業種：〇〇工事」 (平成〇年度表彰、平成〇年度表彰)	過去2年間ににおける福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5
優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし（または受賞なし）			0.0	
(D) 企業の地域性、社会性 5・5点	(a)地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市（町）に主たる営業所あり （〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり）	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり （福井県内に主たる営業所あり）	1.0
			上記以外	0.0
	(b)社会貢献度	県または市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c)地域貢献度 (平成〇年度または平成〇年度)※管工事（営繕系を除く）のみ適用	過去2か年度における県または市町と消雪施設点検の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0
			実績なし	0.0
	(d)県内企業の活用	次の①～③のいずれかを満たす場合に評価する ① 元請企業が「「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用する ② 「「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を一次下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てを自ら施工する	左記①～③のいずれかに該当する	0.5
			上記以外	0.0
	(e)県産品の活用	使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む)	発注者指定の品目(別紙2)のうち〇〇品目以上に県産品を活用する。	0.5
上記未満			0.0	
満点	技術提案を求める標準型			29.5
	技術提案を求めない簡易型			14.5

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。
4. 管工事（営繕系除く。）以外は地域貢献度（消雪施設点検契約）の項目を設定しない。